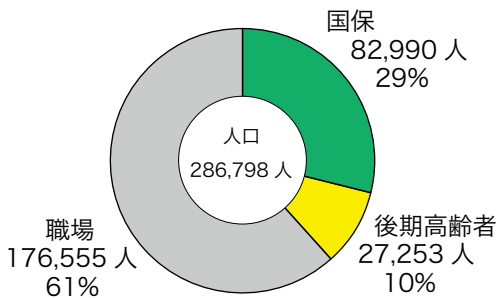


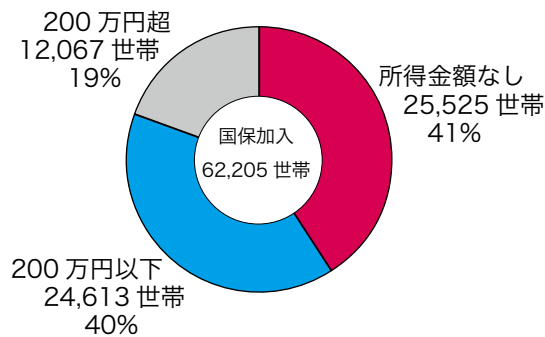
高すぎる国民健康保険料 限界を超えた豊島区の現状

【豊島区の国保の現状】 (豊島区資料より作成)

被保険者の状況



総所得金額別の構成比



23区の中でも厳しい数値

項目	世帯数	割合	順位
滞納者	22,329世帯	約35%	3位
短期証	5,275世帯	約8%	3位
資格証	2,142世帯	約3%	5位
差押え	923件	-	3位

滞納者、短期証、資格証は2018年6月1日時点 差押えは2017年度実績
順位は23区中の多い方からの順番

14年間に国保料を値上げした額

	2005年度	2019年度	上がった額
単身世帯 年収200万円	118,145円	167,747円	49,602円
3人世帯 年収300万円	178,783円	366,357円	187,574円
4人世帯 年収400万円	247,780円	501,659円	253,879円

単身世帯は介護納付金該当(40歳以上65歳未満)
3人4人世帯は介護納付金2名該当(例:40代夫婦と子ども)

国保料を値上げしようとしても、議員が国会、議会で住民の立場で臨めば必ず値下げすることができます。

均等割はなく、世界でも類を見ない制度です。全国知事会からも見直すように要求が出ているほどです。

国と自治体が国保料を値上げしようとしても、議員が国会、議会で住民の立場で臨めば必ず値下げすることができます。

国保料は、国が国庫負担を削減し続けているため高騰の一途をたどっています。そのため区市町村は、独自に公費繰入(法定外繰入)を行い、国保料を軽減してきましたが、ことあるうに安倍政権は、こうした区市町村の努力を敵視し、高圧的にやめさせようと躍起になっています。昨年度から国が始めた「国保の都道府県化」は、区市町村の法定外繰入を削減・廃止し、さらに連続大幅値上げを加速しようとするものです。

限界を超えた豊島区の現状

23区の国保料は一部の区を除き統一され、同じ金額です。それぞれの区が法定外繰入を行い軽減していきながら、豊島区は、毎

えられない痛みです。滞納世帯は約35%と全国平均15%をはるかに超えています。滞納者が増える区収入が減り、国保財政が悪化するという悪循環に陥っています。滞納すると正規の保険証を取り上げられ、具合が悪くても我慢して受診しないという事例も出ています。左表のとおり3人世帯4人世帯は国保料が年収の1割を大幅に超えるため、子育て世代からも悲鳴があがっています。

諸悪の根源は国庫負担の削減

国保制度が始まった当時、政府は「国保は被保険者に低所得者が多く、事業主負担も無く、国庫が負担する必要がある」として必要がありました。しかし自民党政権は1984年から国庫負担を削減し続けてきました。以前、農林水産業と自営業を合わせて7割だった加入者構成は、今では無職43%、非正規雇用などが34%と、合わせて8割近く

「均等割」がもたらす
国保制度の構造問題

あまりにも高すぎる国保料を払えない世帯が全国で289万世帯にのぼります。それは国保の一人当たり平均保険料が、中小企業の労働者が加入する「協会けんぽ」の1.3倍、大企業の労働者が加入する「組合健保」の1.7倍と異常に高すぎるからです。

原因の一つは世帯人数に応じて課される「均等割」です。豊島区の一人当たりの均等割は51000円で、赤ちゃんが生まれると一人分として請求されます。夫婦と子ども3人家族では25万5千円にもなりま

くらし何でも相談

お困りごとは、一人だけで、あるいは家族だけで悩まずに、何でもお気軽にご相談ください。

各分野の専門家、労働組合、弁護士等と連携して問題解決に向けてサポートいたします。

ご連絡お待ちしております。

荒れた道路を修繕 建物の揺れ解消



南大塚3丁目にお住いの方から「自宅前の道路の痛みが激しく、大型車両が通る度に建物が揺れて困っている」と相談が寄せられました。

私が現場確認したところ、大塚駅から新大塚駅に向かう区道補助80号線が、かなり多くの箇所がヒビ割れており再舗装が必要です。

私たちがこの場所はデコボコがひどいので修繕する」と回答し、工事が行われ、建物の揺れは解消しました。

区は道路整備課に連絡し調査を依頼しました。担当者は「何年後に道路全体を再舗装する予定だったが、この場所はデコボコがひどいので修繕する」と回答し、工事が行われ、建物の揺れは解消しました。